

**【令和4年度】渋谷区LINE公式アカウント
「廃プラスチックへの取り組み」に関する
アンケート調査結果**

【アンケート概要】

■ アンケート実施方法

LINEアンケートによる定量調査

■ アンケート対象条件・回収数

対象条件・・・渋谷区在住の18歳以上の人

回収数 合計2,906人

年齢	全体	プラスチック資源回収認知者	プラスチック非分別者	資源回収非認知者と非分別者	(人)
18～29歳	82	75	15	22	
30～39歳	568	554	53	67	
40～49歳	857	841	72	88	
50～59歳	614	604	29	39	
60～69歳	406	403	8	11	
70歳以上	379	379	5	5	
総計	2,906人	2,856人	182人	232人	

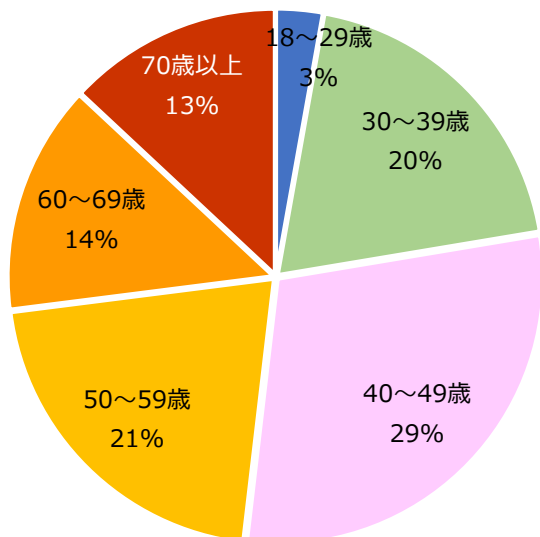
居住エリア	全体	(人)
笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺	896	
代々木上原・代々木八幡周辺	542	
千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺	625	
渋谷駅周辺	272	
代官山・恵比寿・広尾周辺	571	
その他	0	
総計	2,906人	

■ アンケート実施期間 2022年12月5日～12月11日

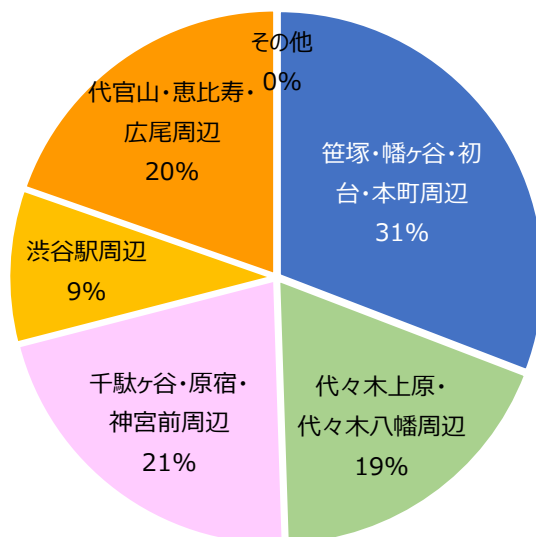
【アンケート調査結果】

回答者情報

年齢

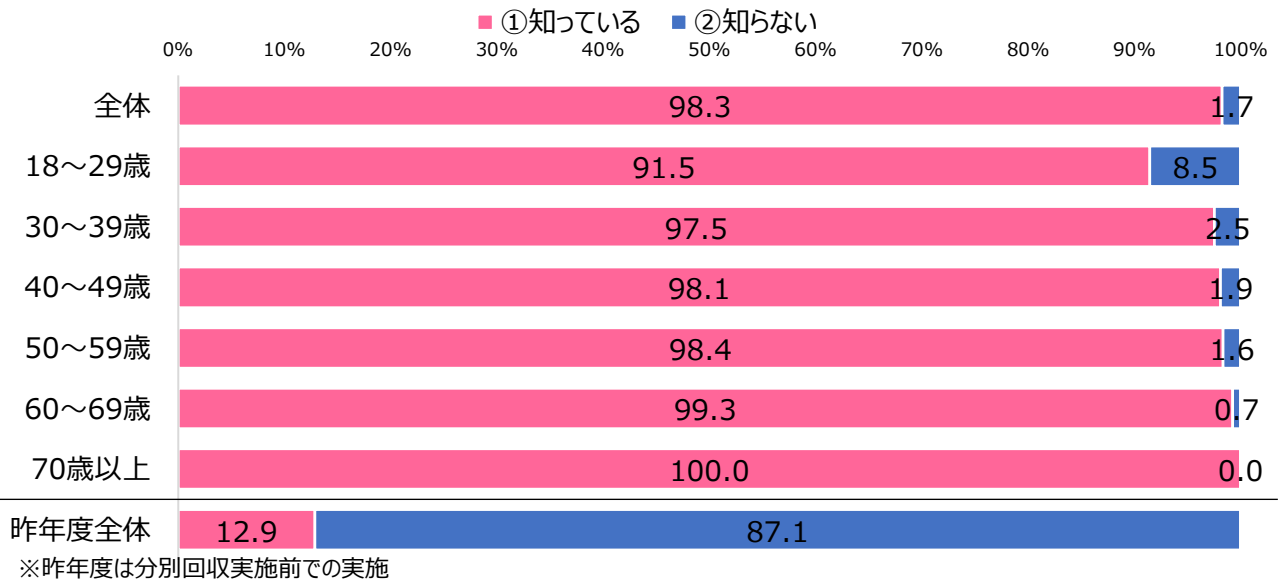


居住エリア



Q1. 渋谷区では、現在、プラスチックを「資源」として分別回収していますが、ご存知でしたか。※令和4年7月から開始しています

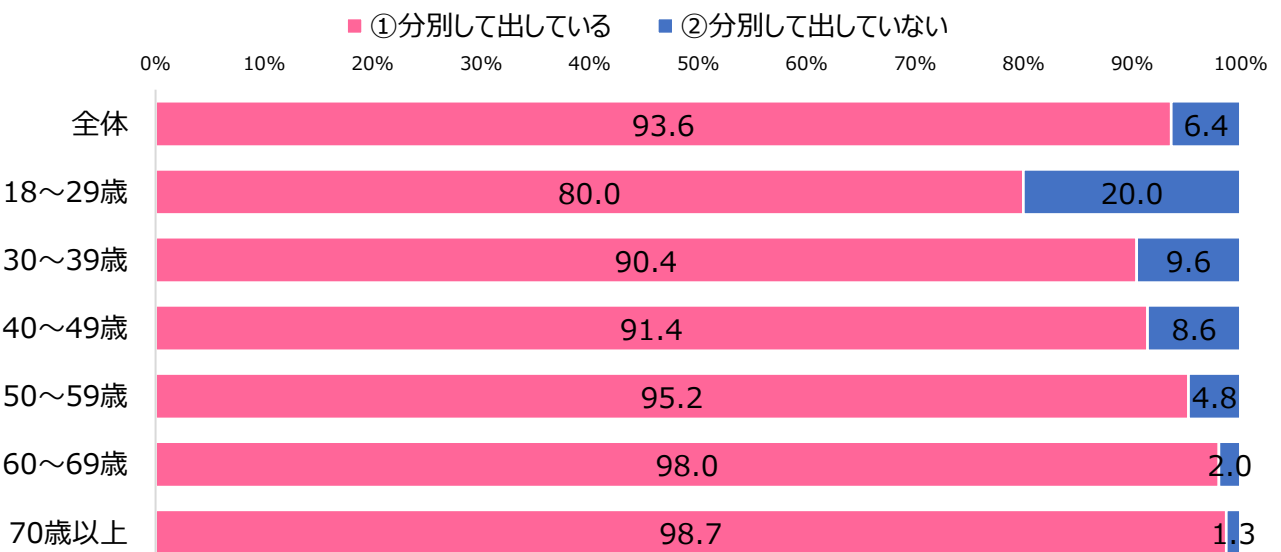
プラスチックを「資源」として分別回収していることの認知は98.3%で、年代を問わずほとんどの人に浸透しています。



Q2. あなたのご家庭では、プラスチックを「資源」として分別して出していますか。

※プラスチック資源回収認知者（全体2,856人）が回答

プラスチック資源回収認知者の中で、実際にプラスチックを資源分別している人は93.6%で、多くの人はきちんと分別しているようです。
年代別でみると、18-29歳は他年代より低めで8割程度ですが、年齢が上がるほど分別している人が多くなります。



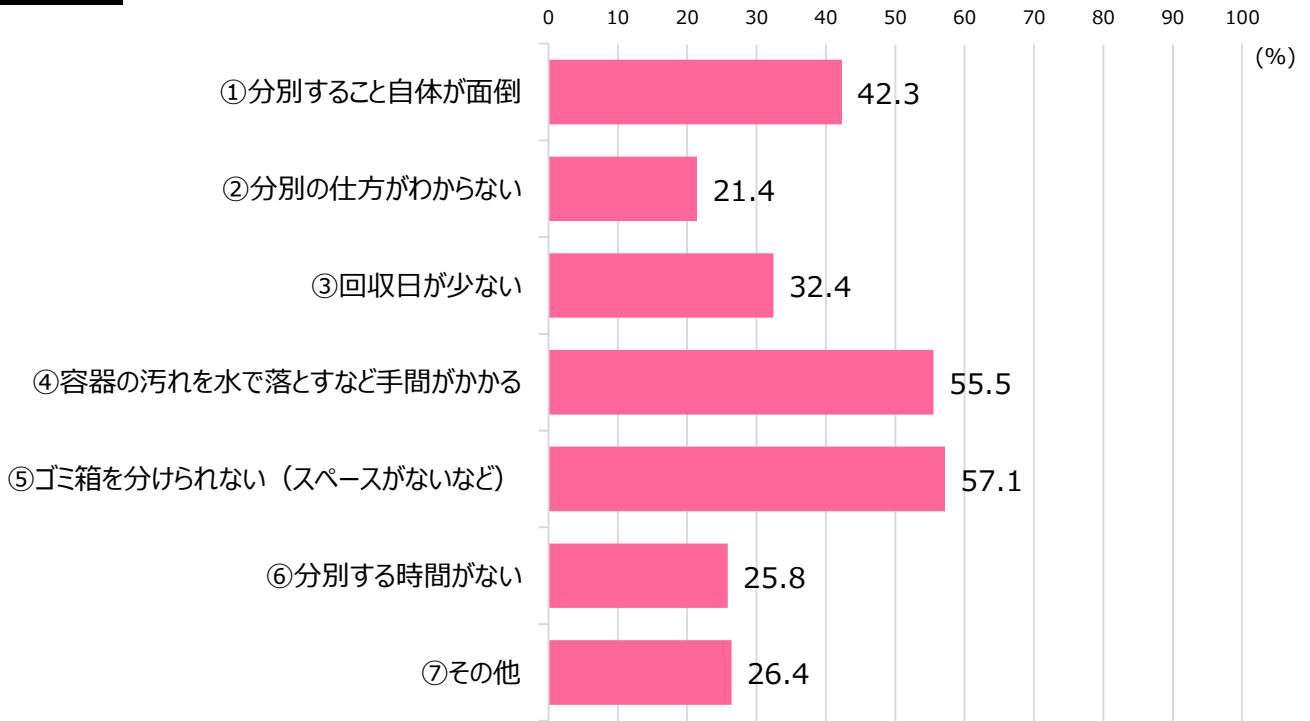
Q3.プラスチックを「資源」として分別して出していない理由を教えてください。

※プラスチック非分別者（全体182人）が回答

分別していない理由としては「ゴミ箱を分けられない」「容器の汚れを水で落とすなど手間がかかる」「分別すること自体が面倒」といったことが上位となっています。

※年齢別は一部回答者数が少ない年代層があるため参考値

<全体>



<年齢別>

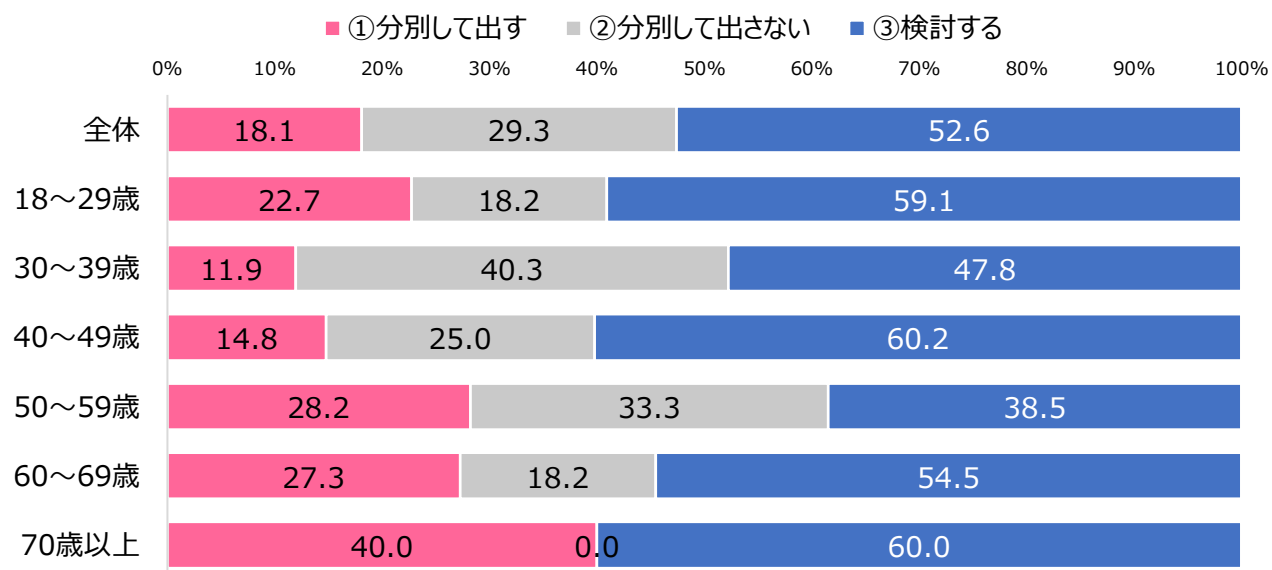
	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(%)
①分別すること自体が面倒	66.7	60.4	33.3	27.6	37.5	0.0	
②分別の仕方がわからない	20.0	22.6	19.4	17.2	50.0	20.0	
③回収日が少ない	26.7	26.4	38.9	27.6	50.0	20.0	
④容器の汚れを水で落とすなど手間がかかる	53.3	67.9	50.0	51.7	50.0	40.0	
⑤ゴミ箱を分けられない（スペースがないなど）	60.0	69.8	50.0	51.7	62.5	40.0	
⑥分別する時間がない	26.7	30.2	26.4	20.7	12.5	20.0	
⑦その他	20.0	18.9	34.7	31.0	0.0	20.0	

Q4. 今後、プラスチックを「資源」として分別して出しますか。

※資源回収非認知者と非分別者が回答（全体232人）が回答

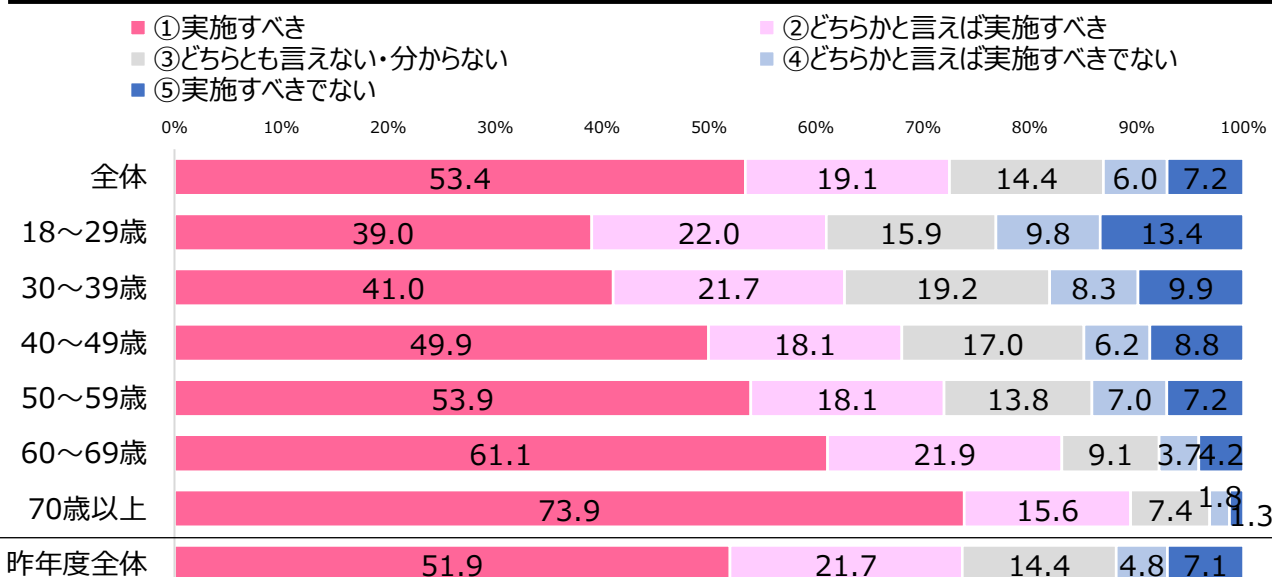
今後の意向としては「分別して出す」が18.1%、「分別して出さない」29.3%、「検討する」52.6%となっています。

※年齢別は一部回答者数が少ない年代層があるため参考値



Q5. 渋谷区でプラスチックを「資源」として回収することについて、どうお考えですか。

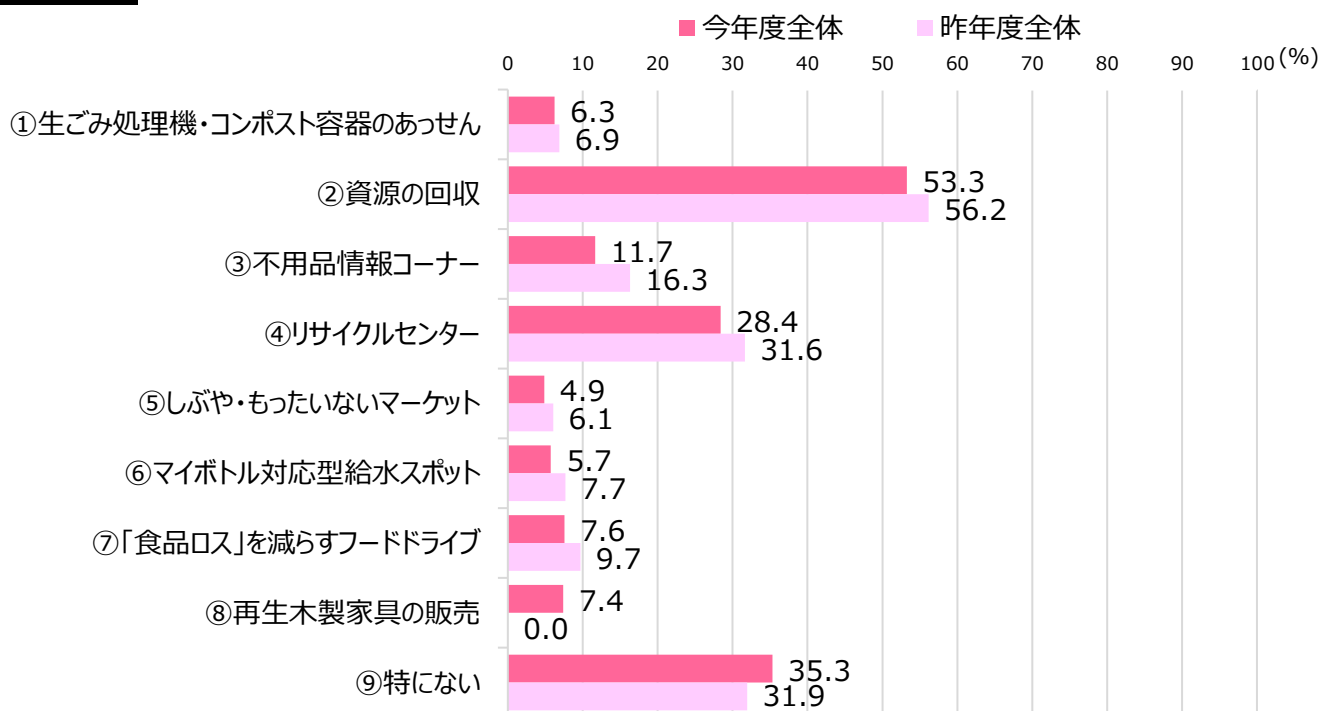
プラスチックを「資源」として回収することについては、「実施すべき」53.4%、「どちらかと言えば実施すべき」19.1%で、実施賛成派は72.5%でした。年代別では、高齢層になるほど実施賛成派が多くなっています。



Q6. 次のうち、利用・参加したことがあるものについて教えてください。

利用・参加したことがあるものでは、「資源の回収」がトップで半数を超えます。次いで「リサイクルセンター」が約3割となっています。年齢別では、18～39歳は、他層に比べて利用・参加したことがあるものは少なくなっています。

<全体>



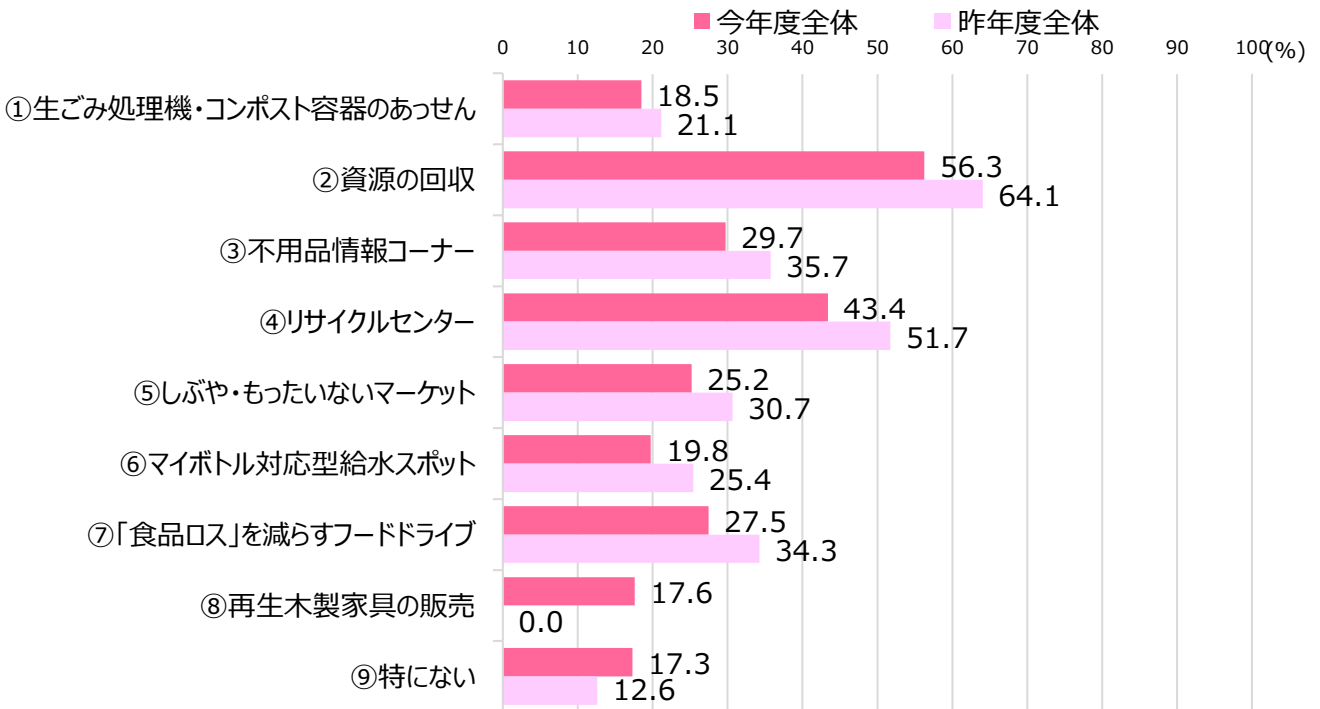
<年齢別>

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(%)
①生ごみ処理機・コンポスト容器のあっせん	4.9	6.9	6.4	5.2	4.9	8.4	
②資源（古着、小型家電、紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、廃食用油等）の回収	31.7	45.6	54.8	54.9	55.2	61.2	
③不用品情報コーナー	2.4	8.3	11.4	12.9	11.8	17.2	
④リサイクルセンター	12.2	19.7	28.2	31.9	30.0	37.7	
⑤しばや・もったいないマーケット	1.2	4.9	5.0	4.6	4.4	6.3	
⑥マイボトル対応型給水スポット	3.7	5.3	6.4	6.0	5.2	5.5	
⑦「食品ロス」を減らすフードドライブ	6.1	7.0	6.7	7.5	6.9	11.6	
⑧再生木製家具の販売	0.0	3.5	5.6	9.4	8.1	14.8	
⑨特にない	57.3	43.5	34.0	33.9	33.0	26.4	

Q7. 次のうち、今後も利用・参加していきたいものを教えてください。

今後も利用・参加していきたいものでも「資源の回収」がトップです。次いで「リサイクルセンター」「不用品情報コーナー」「食品ロス」を減らすフードドライブ」「しぶや・もったいないマーケット」と続きます。なお、いずれも昨年度よりスコアは減少しています。

<全体>



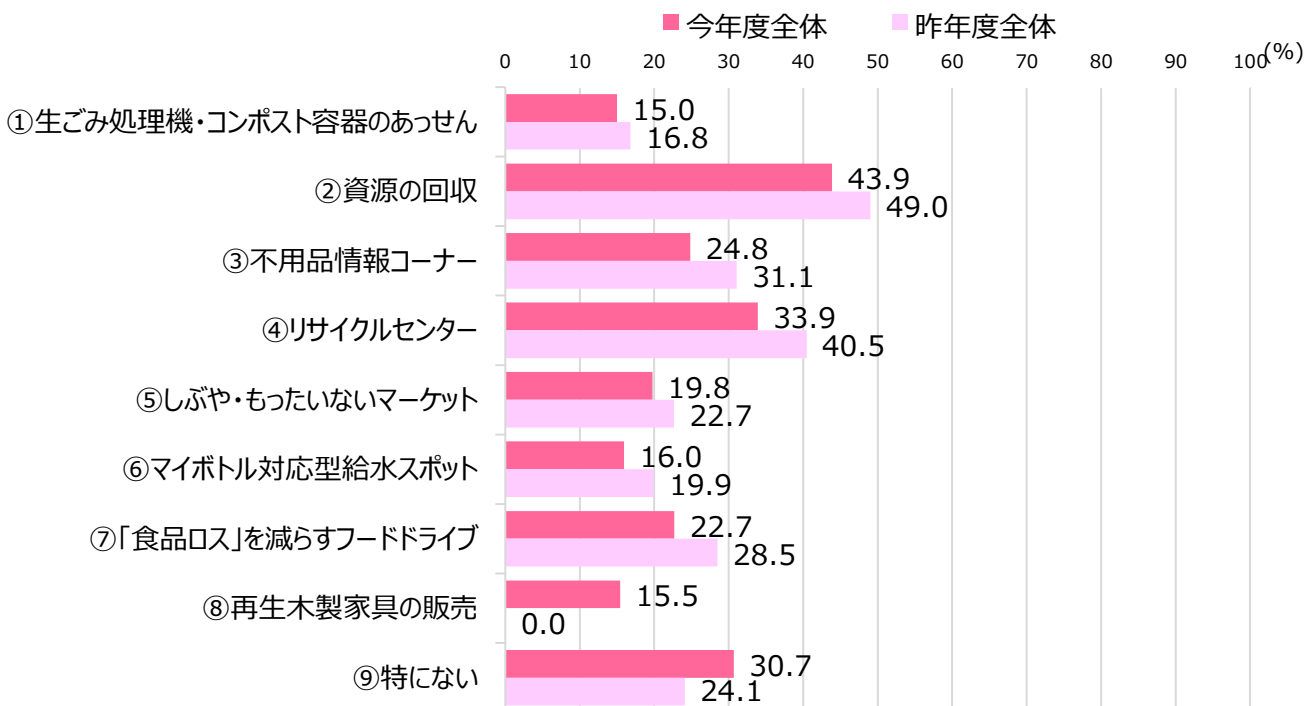
<年齢別>

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(%)
①生ごみ処理機・コンポスト容器のあっせん	13.4	21.3	20.0	20.5	13.5	14.0	
②資源（古着、小型家電、紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、廃食用油等）の回収	40.2	46.5	57.2	59.8	61.8	60.7	
③不用品情報コーナー	13.4	24.1	27.3	34.4	35.7	33.2	
④リサイクルセンター	22.0	31.9	43.3	49.3	50.7	48.0	
⑤しぶや・もったいないマーケット	12.2	23.9	24.6	26.5	26.6	27.4	
⑥マイボトル対応型給水スポット	19.5	19.7	22.2	23.0	16.7	12.4	
⑦「食品ロス」を減らすフードドライブ	19.5	26.6	28.5	29.5	25.4	27.2	
⑧再生木製家具の販売	3.7	15.7	17.3	19.5	17.5	21.4	
⑨特にない	31.7	22.2	17.0	13.7	14.5	16.4	

Q8. 次のうち、他の人にもすすめたいものを教えてください。

他の人にもすすめたいものでも、「資源の回収」がトップ、次いで「リサイクルセンター」「不用品情報コーナー」「食品ロス」を減らすフードドライブ」「しぶや・もったいないマーケット」と続きます。
なお、全体的に昨年度よりスコアが減少しています。

<全体>

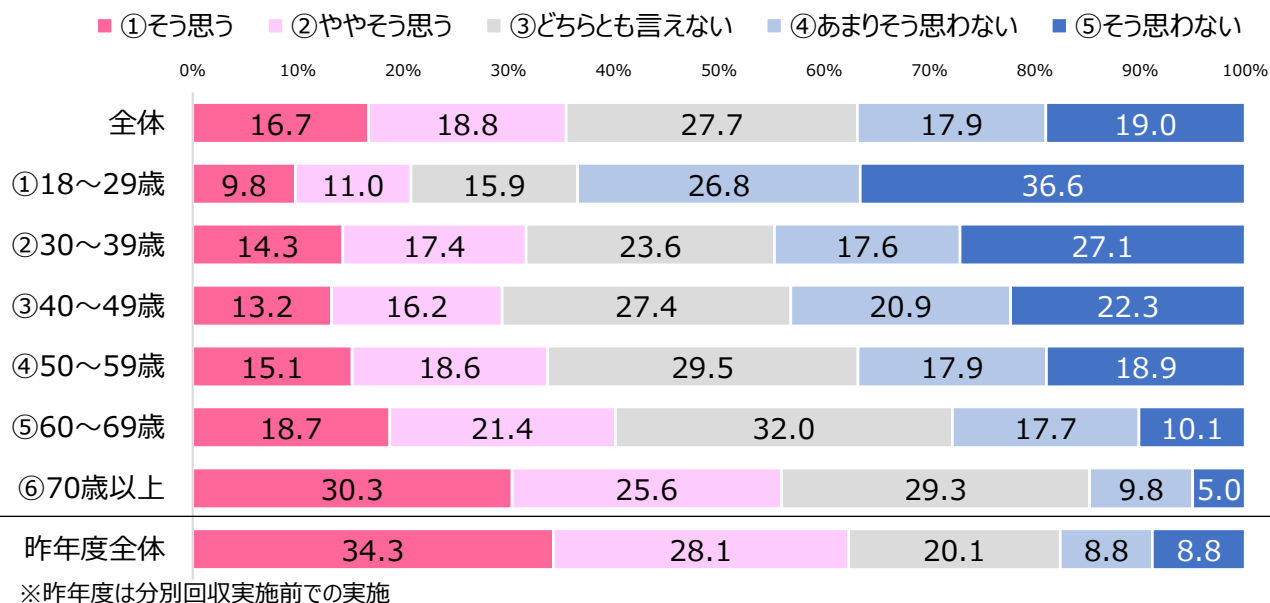


<年齢別>

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(%)
①生ごみ処理機・コンポスト容器のあっせん	9.8	14.6	17.4	14.8	14.8	11.9	
②資源（古着、小型家電、紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、廃食用油等）の回収	28.0	29.6	40.1	48.7	54.4	58.0	
③不用品情報コーナー	3.7	15.5	21.7	27.7	33.3	36.9	
④リサイクルセンター	11.0	20.1	32.7	37.6	43.6	45.9	
⑤しぶや・もったいないマーケット	9.8	14.8	18.8	21.0	23.6	25.3	
⑥マイボトル対応型給水スポット	12.2	13.0	17.9	19.1	16.0	11.9	
⑦「食品ロス」を減らすフードドライブ	14.6	16.4	21.9	25.9	24.9	28.2	
⑧再生木製家具の販売	3.7	10.0	15.1	17.3	16.7	22.7	
⑨特にない	51.2	43.7	31.5	24.4	26.1	20.1	

Q9.ごみ削減や環境保全、サステナブルな社会の実現のため、渋谷区ではプラスチック分別回収の実施を開始しました。このことで、ご自身の生活環境がよくなったと思いますか。

プラスチック分別回収の実施によって自身の生活環境がよくなったかについて「そう思う」16.7%、「ややそう思う」18.8%で、「よくなったと思う」の合計は35.5%でした。年代に比例して「そう思う」の割合が高くなっており、逆に若年層ではよくなったと思う人が少ないようです。



Q10.プラスチック分別回収開始をはじめとした渋谷区のごみ・リサイクルへの取組について、どうお考えですか。

渋谷区のごみ・リサイクルへの取組については「大変評価している」30.6%、「やや評価している」34.4%で、「評価している」は合計65.0%でした。昨年に比べると「大変評価している」の割合が減少しています。年齢別では高齢層ほど評価が高くなっています。

